

## プロジェクト・チーム部 報告

(プロジェクト・チーム部長  
石川 賢司)

今年度は昨年度の研修を踏まえて、具体的なテーマを「音読からスピーキングへの指導」と設定し、研究に入った。

現在、音読指導はごく一般的に行われている。また、音読指導の方法についても教員の創意工夫があり、さまざまな方法が試みられている。一方、スピーキングの指導として、スピーチの指導は広がりが見られるが、生徒自ら発話する、あるいはやり取りをする、しかもimpromptuな発話を含む、といったいわゆる会話活動はなかなか指導が難しく、そのための指導のプロセスが見えにくい。

そこで、本研究では音読とスピーキングの間には何があるのか、何が必要なのかを探り、指導のプロセスを明らかにし、具体的に教室で使える指導法をまとめることとした。

各部員のこのことに関わる実践報告をもとに、音読からスピーキングにつながると思える活動をいくつか取り上げ、現在、実験的に継続実践を行っている。

今後、この実践の成果・課題をまとめると同時に機会を得て、広く発表していく予定である。

(文責 三鷹市立第三中学校長 安原 美代)